

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぐんぐんの森		公表日		年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	療育室は広く、用途に応じて仕切りを使用している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	生活空間の清潔を心掛け、快適に過ごせるようにしている。安全面での配慮をしながら、楽しく活動ができるよう玩具等の配置にも考えられている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個室もしくは、パーティション等で、個別空間を作ることができている。個々の子どもの発達や状況に合わせて、個別の部屋を使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	モニタリングをおこなった結果を職員で意見を出し合ったり、日々の話し合いや個別支援計画を作る際に話し合いを設け、共通認識をおこなっている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者の評価を真摯に受け止めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	パート職員やドライバーの意見を取り入れ、業務改善につなげている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		まだ、第三者による外部評価をおこなっていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	法人内や事業所内の研修のサポートも手厚い。	今年度は職員は3回、管理者は5回研修外部の研修を受けている。が、外部の研修を受講する機会がもう少しあっても良い。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	作成し、公表しています。職員室にも掲示しいつでも見ることができています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	5領域を必ず入れて作成しています。具体的にわかりやすく、作り保護者にも説明しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	基本社員でプログラムを考えた後、パート職員にもねらいや内容を伝えています。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	子どもたちの課題や発達に合った活動内容を考えたり、季節や気候に合ったプログラムを提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	役割分担を決めたり、活動内容を全体で把握をおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		よくできている方だと思っているが、短い時間で効率的に話し合いができるよう、項目をつくっていくなど、工夫ができるとより良いと思う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	職員全員と相談しながら、作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	4つの基本活動を意識しながら、支援をおこなっている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	9	0	子どもが「やりたい」「興味がある」ことを選択でき、じっくり行うことができるようにしています。表現の時間を設け、得意なことや頑張っていることを発表したり披露する時間を毎日設けています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	管理者兼児童発達管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	保護者の依頼により、一緒に付き添いで病院や療育に行き、医師や心理士と話しをすることがあります。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		下校表が月末最終日に出る学校が多いので、学校側の協力体制があると助かります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	利用していた児童発達支援事業所と引継ぎをおこなっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	担当の相談支援事業所を通して引継ぎをおこなっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	市役所の担当部署や、相談支援事業所とは密に連携をとっています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	同じ会社内の保育園や、学童と行事をおこなっています。また、市内の放課後等デイサービスとも活動をすることがあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	市内の児童発達支援・放課後等デイサービスの協議会には必ず参加をおこない、情報共有をおこなっています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	特に力を入れています。保護者がお迎えに来た日は、療育室に入っただき、活動を見てもらっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	保護者が参加できる機会を設けています。	ペアレントトレーニングは行っていません。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	事業所を利用するための契約時に必ず説明をしています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	保護者と面談をしたり、アンケートを取り、ニーズに応えるように努力しています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	保護者にご理解をいただいてもらいサインをいただいております。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	特に力を入れています。子どもや保護者に寄り添いながらおこなっています。困ったこと、家族だけで解決できないことには安心して相談できるような環境を作っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	家族が参加してよい茶話会をおこないました。保護者が話し合いをしている時には、子どもたちは別室で活動をしました。未就学児童から中学生まで楽しく過ごし、好評でした。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	ありがたいことに、苦情は少ないのですが、真摯に受け止め改善できるように努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	HUGという成長療育支援システムを使い、事前に活動を伝えたり、活動報告をおこなっています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	鍵付き書庫で保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	同じ会社内の保育園や、児童発達支援、放課後等デイサービスと夏祭りやカフェごっこに招待したり、焼き芋大会など合同でおこなっています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	同じ会社の看護師による研修をおこなってもらったり、消防士によるAEDの使い方の講習にも参加しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	避難訓練に力を入れています。日頃から防災を意識し、公衆電話の使い方を学んだり、防災クッキングも定期的におこなっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	書類に記載してもらい、職員で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	アレルギーのある子どもの把握を職員全員ができるために、提供するおやつやの保管場所に、掲示し明確にしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	訓練は定期的におこなったり、地震があった次の日には、必ず子どもたちと安全について話す機会を設けています。室内も安全を意識して固定家具などを設置しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	家庭状況調査票を見れば家族と連携がすぐにとれるようにしています。避難場所や台風の時の対応など、保護者に書類やHUGで伝えていきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットがあった場合にはすぐに共有し、改善できるように対策をとっています。	現在ヒヤリハットの報告書がファイリングされているため、目にしやすいように工夫すればより意識できるのではないかな。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	職員だけでなく、パート職員やドライバーも一緒に研修をおこなっています。また、月に1回、管理者会議でも話し合いをしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			